

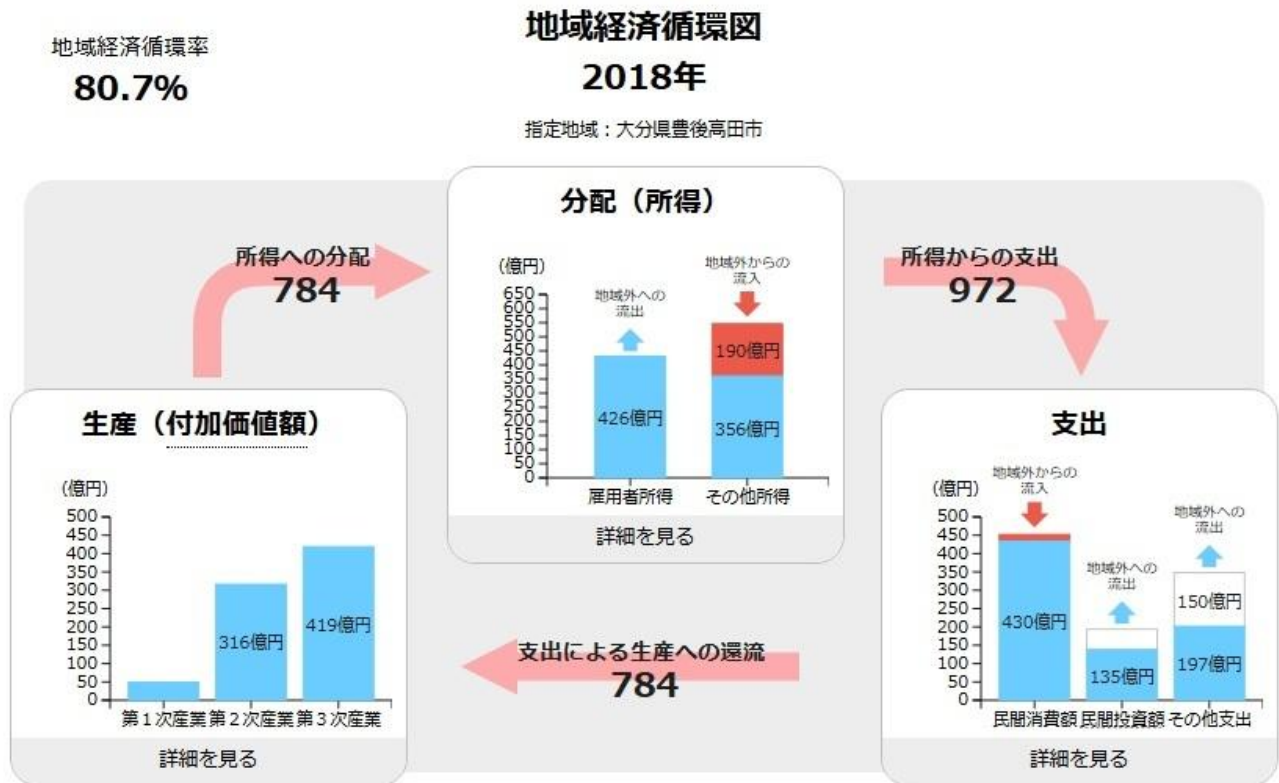
# 令和6年度 地域経済動向調査報告書

## RESAS 分析報告

経営発達支援計画に基づき、地域の小規模事業者の持続的な発展と地域循環型経済の実現を目指し、国が提供する地域経済分析システム（RESAS）によりビックデータを抽出・加工・分析し、管内事業者に向けた統計データを作成、公表する。

令和7年1月31日 豊後高田商工会議所

地域経済循環図は、地域の経済活動を把握するために、「生産」「分配」「支出」の3つの経済活動を通じて、お金が循環し、原則としてその3つの金額が等しくなること（三面等価）を一覧表示して確認できるようにしたものです。



この図は、2018年の豊後高田市の地域経済循環図です。地域経済循環率は80.7%であり、これは市内で生産された価値のうち、80.7%が市内で再投資されていることを示しています。地域経済循環率とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値で、地域経済の自立度を示します。地域経済循環率が低いほど、他地域から流入する所得に対する依存度が高くなります。

図は、生産（付加価値額）、分配（所得）、支出の3つの側面から地域経済の循環を示しています。

#### 生産（付加価値額）

第1次産業、第2次産業、第3次産業のそれぞれの生産額が示されています。

#### 分配（所得）

市内で生産された付加価値が、雇用者所得とその他所得に分配される様子が示されています。

#### 支出

民間消費額、民間投資額、その他支出が示されています。

地域外からの支出流入と、地域外への流出も示されています。

次に産業構造を見ていきます。

各産業の生産額を見ることで、市の基幹産業や産業構造を把握することができます。

# 生産額（総額）

大分県豊後高田市

2018年

中分類

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

生産額（総額）：1,540億円  
移輸出入収支額（総額）：-182億円



上図以外の生産額の合算：78億円

この図からは、豊後高田市の主要な産業とその生産規模、そして移輸出入の状況を把握することができます。

主要産業: 図を見ると、はん用・生産用・業務用機械器具製造業が最も大きなブロックを占めており、市の基幹産業であることがわかります。

その他製造業: その他の製造業も大きな割合を占めており、製造業が市の経済を牽引していることがわかります。農業も重要な産業の一つであり、生産が盛んであることがわかります。建設業も一定の規模があり、市のインフラ整備などに貢献していると考えられます。

次の図は、2018年における豊後高田市の付加価値額（総額）を産業別に可視化したものです。

## 概要

図の中央に位置する大きな四角いブロックは、豊後高田市の付加価値額（総額）784億円を表しています。その周りには、主要な産業分野がそれぞれの付加価値額に応じてブロックの大きさで示されています。各ブロックには、産業名、付加価値額（億円）、主な製品・サービス名が記載されています。

# 付加価値額（総額）

大分県豊後高田市

2018年

中分類

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

付加価値額（総額）：784億円  
移輸出入収支額（総額）：-182億円



上図以外の付加価値額の合算：41億円

この図からは、豊後高田市の主要な産業とその付加価値額、そして移輸出入の状況を把握することができます。

主要産業: 図を見ると、はん用・生産用・業務用機械器具製造業が最も大きなブロックを占めており、市の基幹産業であることがわかります。その他製造業: その他の製造業も大きな割合を占めており、製造業が市の経済を牽引していることがわかります。公務も比較的大きなブロックを占めており、公共サービスが地域経済に貢献していることがわかります。保健衛生・社会事業も重要な役割を担っており、市民の福祉を支えていることがわかります。

次の図は、2018年における豊後高田市の雇用者所得（総額）を産業別に可視化したものです。

## 概要

図の中央に位置する大きな四角いブロックは、豊後高田市の雇用者所得（総額）429億円を表しています。その周りには、主要な産業分野がそれぞれの雇用者所得額に応じてブロックの大きさを示されています。各ブロックには、産業名、雇用者所得額（億円）が記載されています。

# 雇用者所得（総額）

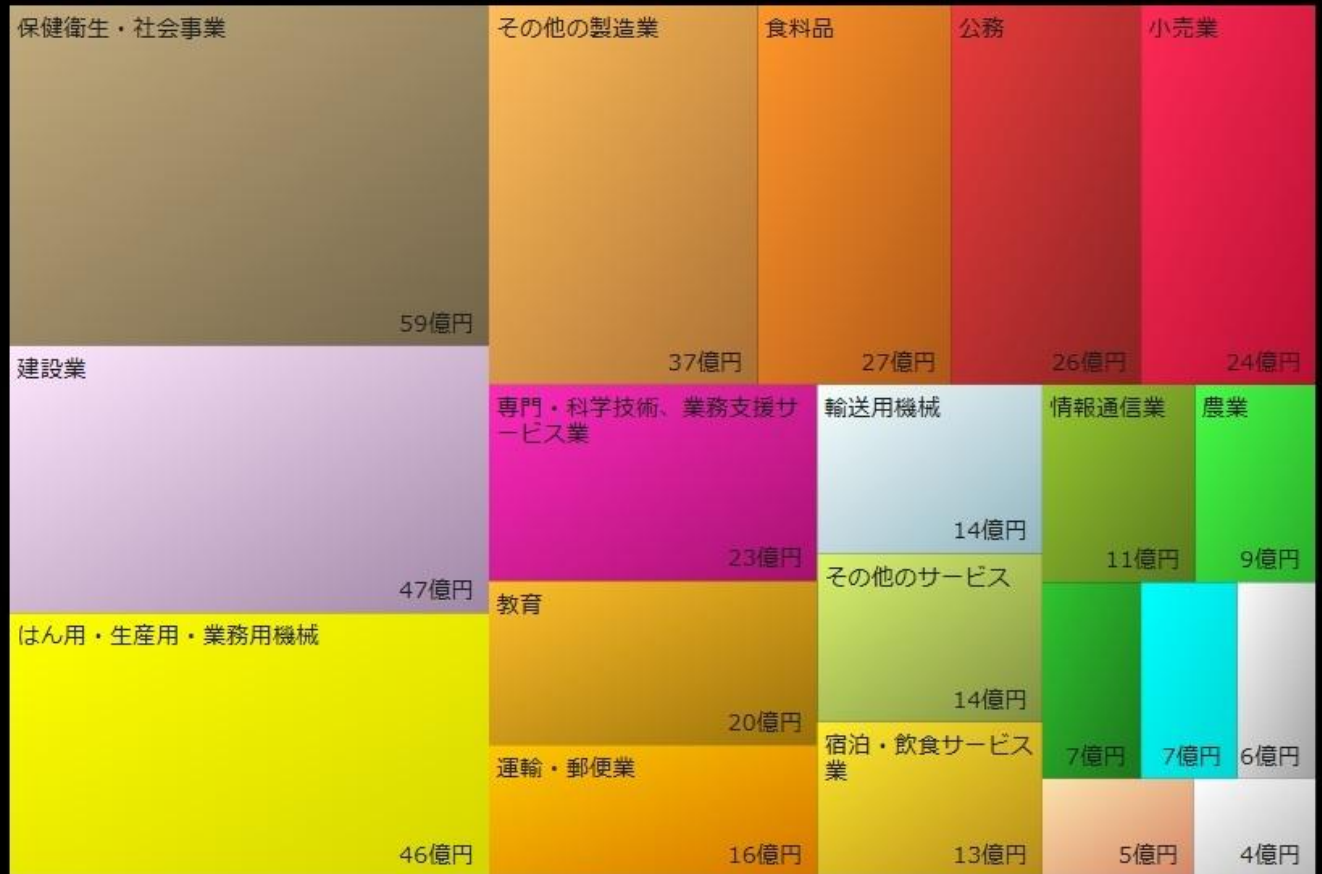
大分県豊後高田市

2018年

中分類

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

雇用者所得（総額）：429億円  
移輸出入収支額（総額）：-182億円



上図以外の雇用者所得の合算：14億円

この図からは、豊後高田市の主要な産業とその雇用者所得額、そして移輸出入の状況を把握することができます。

主要産業: 図を見ると、保健衛生・社会事業が最も大きなブロックを占めており、市の基幹産業であることがわかります。その他の製造業: その他の製造業も大きな割合を占めており、製造業が市の経済を牽引していることがわかります。建設業も比較的大きなブロックを占めており、インフラ整備などに貢献していると考えられます。小売業も重要な役割を担っており、市民の消費活動を支えていることがわかります。

次にまちづくりマップ Fromto 分析で人の動き等を見ていきます。

# 滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

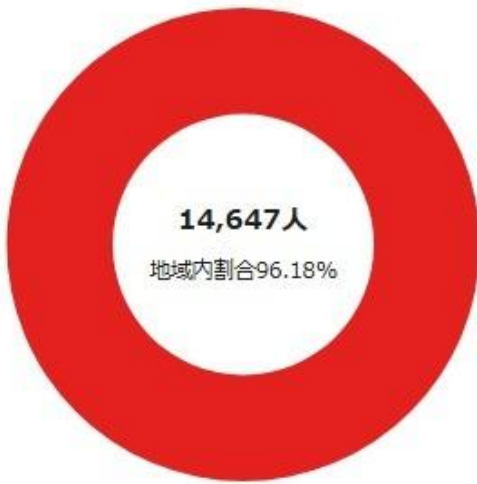
大分県豊後高田市

2023年6月 休日 14時

総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計: 15,229人 (滞在人口率: 0.94倍)  
(国勢調査人口: 16,283人)

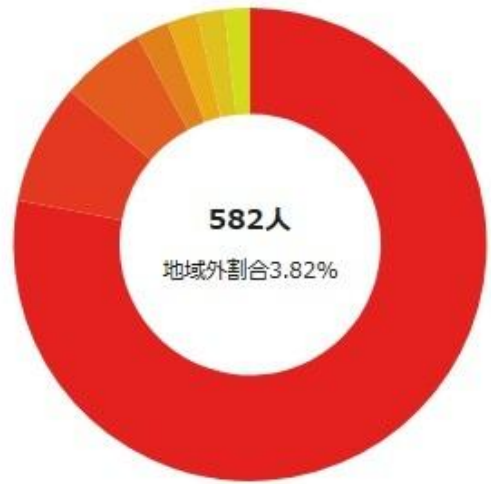
## 滞在人口 / 都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 大分県 14,647人 (100.00%)

## 滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 福岡県 454人 (78.01%)
- 2位 山口県 48人 (8.25%)
- 3位 大阪府 34人 (5.84%)
- 4位 長崎県 13人 (2.23%)
- 5位 熊本県 12人 (2.06%)
- 6位 東京都 11人 (1.89%)
- 7位 兵庫県 10人 (1.72%)

この図からは、豊後高田市の滞在人口の地域別構成の特徴を把握することができます。

県内滞在が圧倒的: 滞在人口の96%以上が大分県内からの滞在者であり、豊後高田市が地域住民の生活圏の中心となっていることが示唆されます。

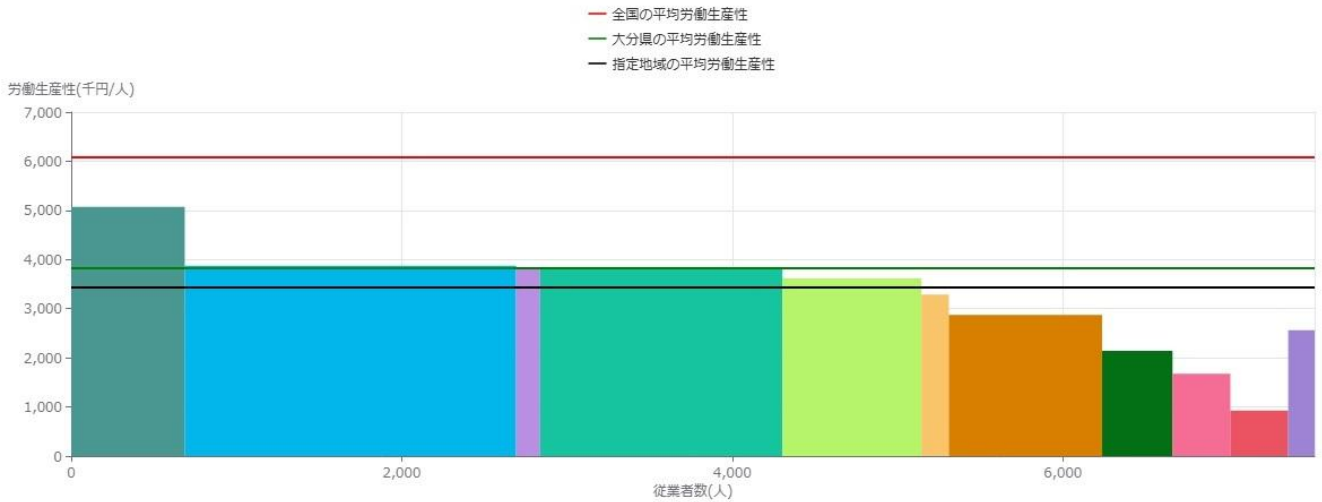
県外からの滞在者は福岡県が最多: 県外からの滞在者のうち、約78%が福岡県からの訪問者です。地理的な近さや経済的なつながりが影響していると考えられます。

その他の県からの滞在者も: 山口県、大阪府、長崎県、熊本県、東京都、兵庫県など、福岡県以外の県からの滞在者も一定数存在します。観光やビジネスなど、様々な目的で豊後高田市を訪れている可能性があります。

次に産業構造マップで産業の現状などを見ていきます。

## 従業者と労働生産性から見る付加価値額

大分県豊後高田市  
2021年



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
建設業	5,073	687	3,485	卸売業、小売業	2,875	927	2,665
製造業	3,875	2,005	7,770	農林漁業	2,143	426	913
学術研究、専門・技術サービス業	3,828	145	555	サービス業（他に分類されないもの）	1,677	350	587
医療、福祉	3,804	1,466	5,576	宿泊業、飲食サービス業	929	350	325
生活関連サービス業、娯楽業	3,617	841	3,042	その他	2,563	160	410
運輸業、郵便業	3,289	166	546				

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
不動産業、物品賃貸業	4,420	50	221
金融業、保険業	4,353	17	74
電気・ガス・熱供給・水道業	2,667	21	56
情報通信業	1,500	4	6
複合サービス事業	900	10	9
教育、学習支援業	759	58	44

【出典】  
総務省「経済産業省「経済センサス-活動調査」  
【注記】+

この図は、大分県豊後高田市の2021年における産業別の労働生産性、従業者数、付加価値額の関係を示したものです。全国および大分県の平均労働生産性も示されており、豊後高田市の状況を比較することができます。

### 概要

図：縦軸に労働生産性（千円/人）、横軸に従業者数（人）をとり、各産業をプロットしています。

プロットされた面の大きさは付加価値額（百万円）に比例しており、面が大きいほど付加価値額が高いことを示します。全国平均労働生産性と大分県平均労働生産性が線で示されており、豊後高田市の各産業の労働生産性を比較できます。

表：各産業の労働生産性、従業者数、付加価値額が数値で示されています。

凡例：各産業が色分けされており、図と表で対応しています。

### 分析

この図からは、豊後高田市の産業構造と、各産業の労働生産性、従業者数、付加価値額の関係性を読み解くことができます。

### 図からの分析

労働生産性: 建設業、製造業の産業は、大分県平均よりも労働生産性が高いことがわかります。

従業者数: 製造業、医療・福祉、卸売業・小売業は従業者数が多い産業です。

付加価値額: 製造業、医療・福祉、建設業は付加価値額が高い産業です。

分布: 労働生産性、従業者数ともに高い産業は、豊後高田市の経済を牽引していると考えられます。

## 表からの分析

各産業の具体的な労働生産性、従業者数、付加価値額を把握できます。

労働生産性が高い産業でも、従業者数が少ないために付加価値額が低い場合があることがわかります。

卸売業・小売業のように、労働生産性は低いものの、従業者数が多いために付加価値額が高い産業もあります。

## 全体的な分析

豊後高田市は、製造業、医療・福祉、建設業などが主要な産業であり、高い労働生産性を誇っています。

## まとめ

豊後高田市は、製造業、医療・福祉、建設業などが主要産業であり、高い労働生産性を誇ります。特に、はん用・生産用・業務用機械器具製造業は、市の経済を牽引する基幹産業です。しかし、移輸出入収支がマイナスであり、市内生産額よりも移輸入額が多い点が課題です。

- ・地産地消の推進: 地元の農産物や特産品を活用した商品開発を強化し、市内消費を促進します。
- ・観光振興: 昭和の町などの観光資源を磨き上げ、体験型観光やワーケーション誘致を強化し、交流人口を増やします。

雇用者所得では、保健衛生・社会事業が大きな割合を占めます。少子高齢化に対応し、医療・福祉サービスの充実とともに、新たな雇用創出が急務です。

- ・地域包括ケアシステムの充実: 高齢者福祉施設の整備や訪問介護サービスの拡充により、高齢者の生活を支援します。
- ・医療・福祉人材の育成: 県内大学や専門学校と連携し、医療・福祉人材の育成・確保を促進します。

潜在人口は県内が中心ですが、福岡県からの訪問者が多い点が特徴です。近隣地域との連携強化が重要です。

- ・連携協定の締結: 福岡県内の自治体や経済団体と連携し、観光客誘致や産業振興に関する共同事業を実施します。
- ・交通網の整備: 福岡県とのアクセス向上に向け、公共交通機関の利便性向上や道路整備を推進します。

既存産業の強化に加え、地産地消の推進、観光振興、地域連携強化などの具体策を実行することで、持続可能な地域経済の発展を目指すことができます。